（様式１）

令和２年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） 82	提案機関名	（公財）神奈川県栽培漁業協会

要望問題名　サザエ種苗生産技術の確立

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】

水産技術センターのサザエ種苗生産事業が不調であり、栽培漁業協会の施設整備後に事業移管が行われる予定であるが、現状ではできない。

そこで、サザエ種苗生産の不調原因を解明し、死亡原因の対策技術を開発してほしい。

解決希望年限	①１年以内	[②２～３年以内]	③４～５年以内	④５～１０年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター	②畜産技術センター	[③水産技術センター]	④自然環境保全センター

備　考

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	栽培推進部

対応区分　[①実施]　②実施中　③継続検討　④実施済　⑤調査指導対応　⑥現地対応　⑦実施不可

試験研究課題名　（①、②、④の場合）

サザエ種苗生産不調対策研究（仮称）

対応の内容等

サザエ種苗生産事業の不調については、当センターとしても最重要課題と位置付けています。平成29年度から、様々な試験や調査を行い、国や大学の専門機関に数回分析を依頼した結果では、生産不調の直接的な原因として寄生虫や細菌感染症等の可能性は低いという見解が出ております。

今年度（令和元年度）は、波板剥離までの初期段階の餌料環境を良好に保つことが鍵と考え、付着する珪藻を培養管理した波板による飼育実験や従来の網生け簀方式と波板による直飼方式の比較検討などを行って不調原因の解明に取り組みます。

令和２年度も、元年度の結果を踏まえたうえで引き続き生産不調の原因解明に向けた試験研究に取り組み、一日も早い量産復活に向けて努力してまいります。

解決予定年限	①１年以内	[②２～３年以内]	③４～５年以内	④５～１０年以内

備　考